

タイ国内 不正薬物関連ニュース(25年6月-7月)

・ 6月10日 チェンマイ発ブーケット行の長距離バスで麻薬輸送 容疑者3人逮捕

タイ南部クラビ県でこのほど、関係当局は北部チェンマイ発南部ブーケット行の長距離バスを使った覚醒剤30万錠の運搬を摘発し、運び屋など3人の男を逮捕した。大量の違法薬物が輸送されるとの情報を事前に得ていた当局は、クラビ県プラーイブラーヤ郡で覚醒剤の入った荷2個を持ってバスを降りた2人を逮捕。さらに、この荷を受け取るため近くで車に乗って待機していた1人も逮捕した。

(情報ソース: <https://www.naewna.com/local/890715>)

・ 6月10日 ドンムアン空港で突然倒れたオーストリア人の男 体内から大量の違法薬物

観光警察は、覚醒剤を袋に詰めて体内に飲み込んだ43歳のオーストリア人に、薬物を販売していた麻薬密売ネットワークのメンバーを逮捕しました。このオーストリア人は袋が体内で破裂し、オーバードーズでドンムアン空港からバンコク都内の病院へ緊急搬送され、医師によると、肛門からピンク色の液体が漏れ出していたことから、CT検査の結果、男が覚醒剤を小分けにしたものを大量に飲み込んでいたことが判明。小分けにしたものの一部が腸内で破れて錠剤が体液で溶けて肛門から出ていたものとみられる。男に排泄させた覚醒剤の錠剤にはWYの刻印があり、胃の中からは200錠以上の覚醒剤が発見され、最終的に外科医が合計1,067錠の錠剤を摘出しています。その後、オーストリア人に覚醒剤を供給した容疑者の自宅を捜索し、244錠の覚醒剤、1.47グラムの水晶状メタンフェタミン（クリスタルメス）を押収した。

(情報ソース: <https://www.thansettakij.com/health-wellness/health/625832>)

・ 6月28日 タイで再び大麻規制 研究・医療に限定、処方箋の提示も義務化

タイ政府は26日、大麻の規制を強化した。

- ・ 販売可能な場所の限定：販売は医師または、ライセンスを持つ医療専門家に限定
- ・ 購入する場合は医師による処方箋提示の義務付けと広告の全面禁止を発表。
- ・ 広告の全面禁止：あらゆるメディアでの大麻関連広告は禁止。商業広告の出稿禁止
- ・ 自動販売機やオンラインでの大麻販売は全面禁止
- ・ 大麻販売店は新しいライセンスを取得
- ・ 販売店には医療従事者の常駐が必須
- ・ 詳細な販売記録の保管と当局による定期検査、毎月結果提出が義務化。
- ・ 違反が二度確認された認可販売店は、営業許可を取り消され、販売者には、最長1年の禁錮または2万バーツ(約9万円)の罰金が科せられる。

現在、全国で認可販売店は1万8000店あまりある。

(情報ソース: <https://www.thaich.net/news/20250701qq.htm>)

■ **7月8日 2歳女児が大麻グミを誤食し搬送 タイ保健相が未認可製品の回収指示**

タイ北部チェンマイ県で先ごろ、2歳女児が誤って大麻成分入りグミを食べて体調を崩して病院に搬送されるケースがあったことから、ソムサク保健相はこのほど、すべての都県の保健当局に対し、保健省食品医薬品局（FDA）と協力して大麻成分を含む食品のうち当局の認可を受けていないものを市場から排除するよう指示した。

（情報ソース <https://www.thaipbs.or.th/news/content/353963>）

■ **7月8日 違法薬物取引の大物シンガポール人をバンコクで逮捕**

タイ当局はバンコクでタイからシンガポールに違法薬物を密輸出していた麻薬取引の大物とされるシンガポール人の男（50）と麻薬組織のメンバーとみられるインドネシア人2人を逮捕した。同容疑者は5月にタイで逮捕状が発付されていた。また、所在の特定にはシンガポール当局の協力があったという。タイ当局は、容疑者がパタヤに移動したことを把握。バンコクに戻ってきてインドネシア人2人と合流したところで3人全員を逮捕した。

（情報ソース <https://www.naewna.com/local/897573>）

- 麻薬検査サービスについては下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://npdh.co.th/th/>

- AED(自動体外式除細動器)レンタルサービスについては下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://aed.npdh.co.th/ja/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS